

生駒市こども計画(案)に対するご意見と対応一覧

資料2

No.	意見箇所 ※パブコメ案の頁数	意見箇所 ※計画書の頁数	該当項目	意見元	意見の概要	対応前 ※パブコメ案	対応の概要
1	8	8	①生駒市子育て支援に関するアンケート調査(再掲)	その他	—	—	・対象に「641名(小学校4年生:211名、5年生:212名、6年生:218名)」を追記 ・有効回答数に回答率を追記
2	9	9	④こども版パブリックコメント、(5)パブリックコメント	その他	—	—	実施完了したため、「こども版パブリックコメント」と「パブリックコメント」の実施概要を追記
3	14	14	①こどもの幸せ	その他	—	小学生の自己肯定感は、	・自己肯定感の後に、「「自分には、よいところがあると思う」に対する肯定的回答割合)」を追記
4	24	24	④遊び・体験活動 図表19	議会	図表19が見つらい	—	見やすくなるよう、図表19のサイズを拡大
5	50～53	50～52	②妊娠・出産	議会	文章から図表49までが遠い	—	文章から図表までページが離れていたため、レイアウト等を調整
6	55	54	③保育サービス	その他	—	放課後児童クラブ(学童保育)については、対象児童の人口は減少しているにも関わらず、利用率が上昇傾向にあるため、利用者数が増加しています	「利用率が上昇傾向にあるため、」を削除
7	66	65	<課題>	その他	—	ひとり親が、時間的余裕がないなどの理由で地域から孤立してしまう場合があります。	「ひとり親が、時間的余裕がなく、地域と関わる時間がないため、地域から孤立してしまう場合があります。」に変更
8	78	76	6. こども・若者・子育てに関する課題の分類整理	議会	「(大人が)こどもに対する見方や接し方を変える必要があることが分かりました」と断定して良いのか	これらは、こどもではなく大人に突きつけられた課題であり、制度や設備を整えていだけでは解消し得ない課題です。こどもを取り巻く課題を解決していくためには、大人がこどもの権利について理解を深めながら、こどもに対する見方や接し方を変える必要があることが分かりました。	大人が「こどもに対する見方や接し方を変える必要があることが分か」と断定すると、大人のこどもに対する見方や接し方が誤っているという語弊を生じる可能性があることから、「変える必要がある」を「考えていく必要がある」に変更。
9	79	77	1. キーメッセージと基本理念	議会	ココにがカタカナになっている	自分の権利が認められ、ココにいていいと思える「自己存在感」を感受することで、	「ココ」を平仮名に変更

生駒市こども計画(案)に対するご意見と対応一覧

資料2

No.	意見箇所 ※パブコメ案の頁数	意見箇所 ※計画書の頁数	該当項目	意見元	意見の概要	対応前 ※パブコメ案	対応の概要
10	81	79	2. 成果指標	議会	成果指標は小学校3年生以下のこどもにも実施すべきではないか	—	(子ども・子育て会議で審議の結果、原案のとおりとする) 成果指標としての統一性を確保するため、以下の理由から、小学校4年生以上をアンケートの対象とする。 ○こどもの発達段階を鑑みると、小学校3年生以下では「幸せ」「地域の大人」などを概念的にとらえ、設問の趣旨に沿った回答をするのは難しい場合があること。 ○小学校3年生以下では、自分で文章を読み、理解し、回答することが難しいケースがあり、市内公立小学校の全クラス、もしくは一定数に対して直接説明しながらアンケートに回答してもらうことは運用上難しいこと。 小学校3年生以下からの意見聴取については、成果指標のアンケートとは別に、今後検討していく。
11	81	79	2. 成果指標	その他	—	地域の大人とのかかわり(あいさつを交わす、日常的に会話をする、本音を話せることがある)について、あてはまると回答した小学校4年生～29歳の割合	地域の大人とのかかわりの例を「あいさつを交わす」と「悩みを話すことができる」に変更
12			2. 成果指標	その他	—	自己決定において意見を尊重されていると思うこどもの割合	「自分の意見を大切にされていると思うこどもの割合」に変更
13			2. 成果指標	その他	—	—	成果指標の現状値を追記
14			2. 成果指標	その他	—	—	指標の説明をより詳細な記述に変更
15			2. 成果指標	その他	—	—	表の下部に現状値の調査対象・方法の説明を追記
16	84	82	基本目標1 こどもの権利が尊重されるまち	子ども・子育て会議	大人の意識変容のために、大人がさまざまな立場の人と対話することの重要性を協調すべきではないか	こどものウェルビーイングを高める上で自己選択、自己決定、自己実現は大きな要素となることを大人と共有し、それらを尊重できるよう啓発を行います。	「学びや対話の機会を通じて」を追記
17	84	82	施策1 こどもの権利の理解促進【重点施策】	子ども・子育て会議	同上	大人は自分の考え方や価値観をこどもに押し付けるのではなく、こどもの想いや考えに耳を傾け、一緒に考えたり、必要な情報を提供したりすることで、こどもの自己選択や自己決定をサポートしていきけるよう大人自身の意識変容を促し、地域全体での理解促進を図ります。	「子どもの権利条約」に記載の諸権利のなかでも、自己決定等のためには、こどもの意見表明権が重要であり、これを実現するには、大人同士が立場を越えて学び合い、対話する機会の創出が重要である旨を追記するとともに、文章の調整を行った。

生駒市こども計画(案)に対するご意見と対応一覧

資料2

No.	意見箇所 ※パブコメ案の頁数	意見箇所 ※計画書の頁数	該当項目	意見元	意見の概要	対応前 ※パブコメ案	対応の概要
18	84	83	施策2 こどもの意見 表明、意見反映の機会 創出【重点施策】	議会	「こどもの意見表明」につ いては、最重要施策と位置付 けても良いのではないかと。	—	(子ども・子育て会議で審議の結果、原案のとおりと する) 本計画の理念を達成するための施策は、こどもの意 見表明だけでなく、大人がこどもの権利を尊重する よう意識を変容させていくことや、子育てを社会に 開き、地域の中でこどもが育つことなどを通して実 現されるものであることから、「こどもの意見表明」 だけを最重要施策とせず、原案の通りとします。
19	84	83	施策2 こどもの意見 表明、意見反映の機会 創出【重点施策】	こども版パブ リックコメント	(こどもが意見を言う際には 安心感が重要である。また、 意見表明の環境づくりはこ どもと対話を重ねながら行 うべきである。) ※こども版パブリックコメン トを通して分かったことを本 欄に記載しています(以下同 じ)	こどもが自らに関わることについて意見を形成し、 その意見を表明することや社会に参画することがで きるよう、意見形成に必要な情報をわかりやすく提 供するとともに、こどもの成長段階に応じた意見表 明や社会参画の機会を確保し、こどもが意見を表明 しやすい環境づくりを行います。また、様々な状況 にあり意見を聴かれにくいこどもについても、等し く意見表明や社会参画ができるよう工夫します。	「こども版パブリックコメント」の意見を踏まえ、文章 を変更。(大人がこどもと対話を重ねることで、こ どもが安心して意見を表明できる環境づくりに努める 旨を追記するとともに、文章の調整を行った)
20	84	83	施策2 こどもの意見 表明、意見反映の機会 創出【重点施策】	議会	こどもの意見に対する フィードバックについても明 記してほしい	—	「さらに、こどもの意見に対して、大人はその意見の 内容や意図を尊重し、どのように取組に反映された のかについて、こどもに分かりやすくフィードバック します」を追記
21	84	83	施策2 こどもの意見 表明、意見反映の機会 創出【重点施策】	その他	—	—	「奈良県と連携したこども・若者が意見を表明する 機会の確保の推進」を取り組みの中の「市政全般に ついてこどもの意見を反映させることができる仕 組みの構築・運営」の事業のひとつとして位置づけ ていたところ、「こどもの意見表明機会の創出」に位 置づけることとした。
22	84,85,88,94, 127,131,138	83,84, 87, 9 3, 127, 130, 137	—	パブリックコメン ト	—	スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー の拡充	拡充の前に「周知」を追記
23	86	85	施策4 遊び・体験活動 の充実	こども版パブ リックコメント	(普段から関わりのある友だ ちだけでなく、他校のこども などとも交流したい、日頃の 人間関係と違うところで楽 しく過ごせる場所や機会が ほしい)	日々の生活の中でこどもの社会性や創造性を育め るよう、小さい頃から家庭環境によらず、様々な遊 びや体験活動を楽しめる機会の充実が求められま す。 そのために、安全安心な環境の中で、多世代のこ どもと一緒に遊ぶことができる場や、こどもの自己選 択・自己決定が尊重され、こどもが自由に好きな遊 びができる場の充実に取り組みます。	「こども版パブリックコメント」の意見を踏まえ、文章 を変更(年齢や住んでいる地域を越えて新しい関わり が生まれ、多様な体験ができる場を充実させる旨 を追記するとともに、文章の調整を行った)
24	86,129	85,128	施策4 遊び・体験活動 の充実	パブリックコメン ト	—	「異年齢のこどもと一緒に遊ぶことができる施設の 充実」	「異年齢の」を「多様な」に変更

生駒市こども計画(案)に対するご意見と対応一覧

資料2

No.	意見箇所 ※パブコメ案の頁数	意見箇所 ※計画書の頁数	該当項目	意見元	意見の概要	対応前 ※パブコメ案	対応の概要
25	87	86	施策5 こどもの居場所づくり【重点施策】	議会	「こどもが過ごしたい場を自ら選べる」という意味が分かりづらい	また、こどもが過ごしたい場を自ら選ぶことができるよう、こどもの視点に立った多様な居場所の創出に努めます。	「こどもが過ごしたい場を自ら選ぶことができる」という表現の場合、学童保育施設なども含めこどもが選べるというような語弊を生じる可能性があることから、「こどもが過ごしたい場」を「こどもがどう過ごしたいか」に変更
26	87	86	施策5 こどもの居場所づくり【重点施策】	こども版パブリックコメント	(居場所として、「何かができる場所」だけでなく、「何もしなくてもよい場所」もほしい)	—	「こども版パブリックコメント」の意見を踏まえ、文章を変更(「何もしなくてもよい」「一人でいたいときは一人でいられる」など、こどもがどう過ごしたいかを自ら選ぶことができる旨を追記
27	87	86	施策5 こどもの居場所づくり【重点施策】	議会	こどもが近所の公園で自由に遊べない場合がある、という声があった。施策5の「こどもの居場所の確保」に公園のことを掲載してはどうか。	—	(子ども・子育て会議で審議の結果、原案のとおりとする) 当該内容については、施策4 遊び・体験活動の充実に「公園の施設や使い方等あり方の検討」として特出している内容です。また、公共施設の活用検討については公園以外にも含め広く公共施設全体を対象に検討したいと考えています。 地域の皆様の身近な公園の多くは住宅に近接している規模の小さな公園です。遊んでいる時にボールが他の方に危険を及ぼすケースや公園外に出てしまいご迷惑をおかけするケースが報告されており、地域の皆様が話し合いルールを決めている公園があります。 公園の使い方については、市が画一的なルールを決めるのではなく、公園で遊ぶ皆様が自主的にお話をしていただき、譲り合い、近隣住民の方や公園を利用する他の方々に配慮しながら、工夫して楽しく遊んでいただきたいと考えております。 他方で、12月の厚生文教委員会においても、自治会としてもルールを変更しにくいという意見もいただきました。公園の利用方法を含め、こどもの意見が地域においても尊重されるよう、「こどもの権利について学び、対話する事業(大人対象)」を通して、大人の意識変容やこどもの権利の理解につなげるとともに、こども議会やこども委員会等の意見表明の機会を通じて、こども自身もまちづくりに参画する権利があることを意識してもらおう契機となるよう、働きかけます。
28	88	87	施策6こどもの心のケア	こども版パブリックコメント	(相談するには勇気が必要、確実に秘密は守ってほしい、相談したときのこどもの考えを否定しないでほしい)	こどもが日々の生活を楽しみ、未来に希望を持ちながら過ごすことができるよう、悩みや不安を抱えた際には、いつでも相談できる環境があることが重要です。	「こども版パブリックコメント」の意見を踏まえ、文章を変更(相談したいと思ったときにを追記、大人が相談を受けるときは、確実に秘密を守る、気持ちや考えを受け止めるなど、こどもの心理的安全性を確保することが重要な旨を追記するとともに、文章の調整を行った)

生駒市こども計画(案)に対するご意見と対応一覧

資料2

No.	意見箇所 ※パブコメ案の頁数	意見箇所 ※計画書の頁数	該当項目	意見元	意見の概要	対応前 ※パブコメ案	対応の概要
29	91,92,96,98, 133,135,140, 142	90,91,95,97, 133,134,139, 141	ー	議会	こどもに「触れる」という表現に差し障りがある	こどもに触れる機会創出事業	「こどもに触れる」を「こどもと接する」に変更
30	92	91	注釈箇所	議会	プレコンセプションケアに注釈を加えてほしい	ー	プレコンセプションケアの注釈を追記
31	93	92	施策11 多様な保育サービスの提供	子ども・子育て会議	幼稚園教諭も処遇改善の対象になりうるのではないかと	私立園の保育士の処遇改善	幼稚園の認定こども園化などにより、幼稚園教諭も処遇改善の対象になりうることから、「等」を追記。
32	95	94	施策13 配慮が必要な家庭への支援	議会	「経済的支援の充実」の事業として「就学援助」を加えてほしい	ー	「経済的支援の充実」に「●小・中学校の就学援助」を追記
33	96	95	施策14 地域の力の活用	子ども版パブリックコメント	(挨拶をしてくれると嬉しと感じる)	地域のこどもとおしゃべりや遊び、活動を通じて、気軽に話ができる関係性をつくり、こどもと信頼関係を築いていく、そういった意識をもつ大人を地域で育成していきます。	「こども版パブリックコメント」の意見を踏まえ、文章を変更(挨拶から気軽に話せる関係性をつくりを追記し、文章の調整を行った)
34	100	99	(3)その他のこども・子育て支援	その他	ー	子育て短期支援事業では、コロナ禍での利用数減はありましたが、保護者が社会的な理由等で一時的にこどもの世話が難しくなった時などに、児童養護施設等において預かり、こども及びその家庭の福祉の向上を図っています。	「社会的な理由等で、」を削除
35	103	102	【見込み量と確保量】	その他	ー	ー	3号の見込量及び確保量を年齢別に分けて記載
36	105	104	事業2 延長保育事業	その他	ー	通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において	「通常の利用日以外の日、又は通常の利用時間以外の日において」に変更
37	107	106	事業4 乳児等通園支援事業	その他	ー	ー	計画値を変更(計画値を精査し微調整を行った)
38	114	113	事業10 産後ケア事業	その他	ー	ー	・実績を追加 ・計画値を変更(ニーズの見込量・確保量とも増やした)
39	117	116	事業13 ファミリー・サポート・センター事業	その他	ー	ー	「※令和7年度から、ひとり親家庭や経済的に困難な世帯等に属する依頼会員への利用料助成を開始します。」を追記
40	127～	126～	3. 計画のロードマップ	議会	何が新規事業であるかわかりづらい	ー	新規事業に、「新規」マークを追記

生駒市こども計画(案)に対するご意見と対応一覧

資料2

No.	意見箇所 ※パブコメ案の頁数	意見箇所 ※計画書の頁数	該当項目	意見元	意見の概要	対応前 ※パブコメ案	対応の概要
41		130	3. 計画のロードマップ	その他	—	—	「相談先を掲載したこども計画(こども向け概要版)の全校配布」を令和7年度以降にも実施することとしたため、矢印を伸ばした。
42	—	—	共通	その他	—	—	その他表現などにかかる軽微な変更